静岡県スポーツ推進計画　概要版

資料2

1 総論

根拠法令	地方公共団体は、基本理念にのっとり、スポーツに関する施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。（スポーツ基本法第４条）		
計画区域	静岡県全域	計画期間	2022～2025年度

2 改定の考え方

○大規模国際スポーツ大会の終了に伴い、イベント中心の取り組みから日常におけるスポーツ振興への転換を目指す

○日常におけるスポーツ振興の最終目標としての「スポーツの聖地」をより分かりやすく表現し、スポーツの聖地づくりの取組を推進

○2021年度末改定の国スポーツ基本計画（第３期）を参酌するとともに、前静岡県スポーツ推進計画の進捗状況を踏まえた見直し

基本理念

富士の高みがいつもそこにあるように、スポーツが文化として定着し、スポーツの力ですべての県民が健康で豊かに暮らせる、スポーツによるＱＯＬの向上を実感できる社会を目指し、本県におけるスポーツ政策の基本理念を「スポーツの聖地づくり」と設定する。

スポーツの聖地づくり

○"スポーツ・レクリエーション"から"競技"まで、それぞれの志向に応じ運動を楽しむことができる。

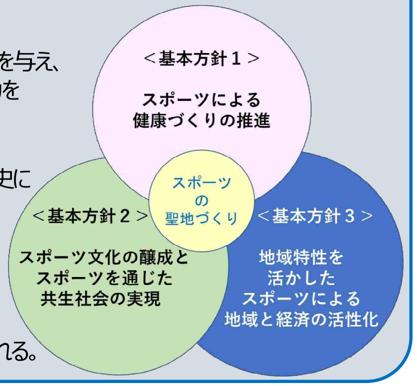
○「する」「みる」「支える」など、様々なアプローチを通じて日常生活にスポーツを取り入れることができる。

○性別、年齢、障害の有無、経済状況等の区別無く、ささえあいながら、ともにスポーツに関わることができる。

○トップアスリートの活躍が子供たちに夢を与え、スポーツを通して人間性や多様な能力を育むことができる。

○地域の特色あるスポーツの取組や歴史に誇りを持つことができる。

○適正な対価によるサービスとして様々なスポーツを楽しめる環境があり、スポーツ施設等への投資が促進され、スポーツにより地域や経済が活性化される。



基本方針(3)・指標(3)　／　**柱（６）・目標値(11)**　／　**施策（14）・取組(75)**

＜基本方針１＞ スポーツによる健康づくりの推進

＝主旨＝
体力の向上、健康増進により、より多くの県民が生涯にわたり健康的な暮らしを送ることができる

（指標）
○成人の週１回以上のスポーツ実施率
毎年度　70%

＜柱１＞ 幅広い世代への生涯スポーツ振興

○多様な年代が参加できるスポーツイベント数
毎年度　440回

○新体力テストの記録が全国平均を上回る割合
毎年度　100%

＜施策１＞子供の運動習慣の確立
①ファミリー・プレイ・プログラム等の活用　②「幼児期運動指針」の活用
③運動機会が少ない子供への魅力ある活動の提供　④新体力テストを活用した体力分析
⑤「体力アップコンテストしずおか」の普及　⑥「子どもの体力向上ふじさんプログラム」の充実
⑦オリンピック・パラリンピック教育の活用　⑧子供のスポーツに関する団体が一堂に会する場の設定
⑨中高生の運動部活動の指導体制充実　⑩中高生の運動部活動の活性化
⑪事故、障害防止に向けた設備・用具の安全確保、スポーツ医・科学活用　⑫ニュースポーツ、マインドスポーツ等の推進

＜施策２＞成人期に地域社会や職場でスポーツに親しむためのきっかけづくり
⑬県民のスポーツに関する意識調査の実施、分析　⑭日常生活へ運動を取り入れることによる運動習慣化
⑮健康経営の推進による職場の健康づくり支援　⑯誰もがスポーツに親しむ機会の創出(推進月間、県民の日)
⑰ニュースポーツ、マインドスポーツ等の推進【再掲】

＜施策３＞高齢期の健康長寿のためのスポーツ推進
⑱静岡県すこやか長寿祭（仲間とのスポーツの場）　⑲高齢者を対象とするスポーツ指導者の養成
⑳ニュースポーツ、マインドスポーツ等の推進【再掲】

＜施策４＞女性のスポーツ参画
㉑男女とも参加できる幼・児童スポーツ団体の拡大（啓発）　㉒運動機会が少ない子供への魅力ある活動提供
㉓家族でスポーツに参加する機会の創出　㉔女性アスリートの活躍支援

＜柱２＞ スポーツ施設の整備と利活用の促進

○県立スポーツ施設利用者数
毎年度　600,000人
○県営都市公園運動施設利用者数
毎年度　2,220,000人

＜施策５＞多くの人がスポーツに親しむことができる場の提供と人材の確保
㉕県立スポーツ施設の魅力向上　㉖県立スポーツ施設の適切な管理運営
㉗都市公園施設の機能充実　㉘都市公園施設の維持修繕
㉙スポーツ施設のバリアフリー化、グラウンドの芝生化
㉚地域スポーツ活動充実のためのスポーツ推進委員の資質向上

＜施策６＞地域スポーツの担い手となる総合型地域スポーツクラブの充実
㉛中間支援組織の支援
㉜広域スポーツセンターによる支援

＜基本方針２＞ スポーツ文化の醸成とスポーツを通じた共生社会の実現

＝主旨＝
スポーツを通じて、人間的な成長を促すとともに、相手を尊重し、思いやる精神が育まれる

（指標）
○する、みる、支えるのいずれかの形でスポーツに親しんだ県民の割合
毎年度　90.2%以上

＜柱３＞トップアスリートの活躍によるスポーツへの関心喚起と理解促進

○ＪＯＣオリンピック強化指定選手・ＪＰＣパラリンピック等強化指定　選手中の静岡県関係選手の割合
毎年度　3.0%

○国民体育大会への出場種目数
毎年度　231種目

○日本スポーツ協会登録コーチ３、４（旧公認コーチ）数
2025年度累計　1,300人

＜施策７＞個々に合わせた可能性を発掘し、磨きあげるジュニア世代の育成
㉝ジュニア世代の発達段階に応じた育成・強化　㉞学校や地域への各分野のスペシャリストの派遣
㉟ジュニア育成・強化のためのトップアスリートの派遣　㊱多くの競技を体験する機会の創出
㊲競技力向上に向けた運動部活動の支援　㊳中高生の運動部活動の活性化【再掲】
㊴体づくりに関するスポーツ食育支援

＜施策８＞活躍する姿が多くの人に夢や感動を与えるトップアスリートの育成・支援
㊵オリンピック・パラリンピックでの活躍を目指すトップアスリートの活動支援
㊶世界に羽ばたく可能性のあるアスリートの活動支援
㊷国内主要大会において優秀な成績を収めるための強化活動の支援　㊸トップアスリートのセカンドキャリアの活動支援
㊹ＩＣＴを活用した強化活動の実施　㊺スポーツ医・科学を有効活用したアスリート支援

＜施策９＞選手の能力を引き出す指導者の資質向上
㊻国内外のトップクラス指導者の招聘　㊼上級コーチ等の指導者資格取得、専門研修会への参加支援
㊽ジュニア期のスポーツ・インテグリティの基盤整備　㊾スポーツ医・科学研究の成果の活用　㊿ＩＣＴを活用した指導力の向上

＜施策10＞競技力を活用した機運醸成
(51)東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念イベント　(52)オリンピック・パラリンピック教育の活用【再掲】
(53)ラグビー文化の醸成

＜柱４＞ 障害の有無にかかわらないスポーツ振興

○静岡県障害者スポーツ大会への参加者数
毎年度　3,000人

＜施策11＞障害者スポーツの裾野拡大
(54)障害のある人が安全にスポーツを行うためのニーズ把握　(55)障害者スポーツに親しむ機会の提供
(56)障害者スポーツの指導者の育成・活用　(57)特別支援学校生徒と地域スポーツ関係者との連携
(58)障害のある人とない人が一緒にスポーツに参加する機会の提供　(59)障害者スポーツ応援隊の活用

＜施策12＞パラアスリートの発掘・育成・支援
(60)パラリンピック、デフリンピックなどで活躍する選手の支援
(61)競技力向上を目的とする強化練習会、合宿等の支援
(62)パラアスリート発掘のための体験会の開催
(63)全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣の支援

＜基本方針３＞ 地域特性を活かしたスポーツによる地域と経済の活性化

＝主旨＝
スポーツをすること、観戦することは、地元チームの応援等を通じた地域と経済の活性化へとつながる

（指標）
○県内施設・大会等でスポーツをする人、みる人の人数
2025年度　15,000,000人

＜柱５＞ スポーツによる交流促進

○サイクリング県モデルルート数
2026年度　７ルート
○主催、共催、後援したスポーツ大会数
2025年度　150件

＜施策13＞スポーツを通じた多様な交流の促進
(64)「サイクルスポーツの聖地」を目指す取組の推進
(65)地域の資源を活用したスポーツ交流の推進
(66)スポーツ産業振興協議会の支援
(67)テーマ性を持ったツーリズムの推進
(68)自転車競技国際大会等開催に向けた準備
(69)国際ロードレース大会創設に向けた取組
(70)プロスポーツチーム等との連携

＜柱６＞ 交流を促進するための体制整備

○スポーツボランティア登録数
2025年度　600人

＜施策14＞スポーツコミッションによる地域活性化の推進
(71)スポーツコミッションの設置に向けた準備
(72)スポーツボランティア活動への参加の促進
(73)大規模国際スポーツイベントを契機とした交流継続のための支援
(74)サイクルスポーツセンターの自転車トレーニングヴィレッジとしての活用の促進
(75)小笠山総合運動公園の利活用によるスポーツ合宿等の推進